

市長戦略編 重点事業（案）一覧

戦略 1 都市の魅力と活力を創造するイノベーション

市内の既存企業、創業者、進出企業への支援、情報提供体制を強化するとともに、進出企業の受け皿となる産業用地の創出などにより、航空宇宙産業をはじめとする次世代成長産業を含んだバランスのよい産業集積を持続的に高めます。

魅力的なまつりやイベントの開催、中心市街地の新たな施設の整備、公共交通の利便性向上や地域経済の活性化などにより、市内でより多くの人やモノが行き交う活気あふれるまちを創造するとともに、小牧山など本市が持つ豊かな自然、歴史、文化といった様々な地域資源の活用や魅力を高める整備などを通じて、市民の小牧市への愛着や誇りの基柱となるアイデンティティを確立します。

自家用車を利用できなくても移動に困ることのない、より便利な総合交通ネットワークを構築するため、利便性の高い新たな交通システムの導入を目指すとともに、新規バス路線の開設、こまき巡回バスの拡充などを行います。

「防げる病気は未然に防ぐ」との考えの下、みずぼうそう、おたふくかぜなどの予防接種への助成を継続するとともに、各種がん検診や健康診断、健康づくりに関する講座やイベントに対し市民の受診や参加を促す仕組みの構築を図り、誰もが健康で生きがいを持って暮らせるまちをつくります。

障がいのある方が地域で自立した生活を送れるよう、利用者のニーズやサービス事業者の参入意向等を把握しながら、必要なサービスをバランスよく提供できるように施設整備促進のための支援を行います。

＜重点事業＞産業用地の創出

企業立地相談のワンストップ窓口化や、本市への立地のインセンティブとなる魅力ある企業立地促進制度の充実を図るとともに、新たな工業団地の開発や土地利用規制の緩和、用地情報収集などにより新規企業の誘致や市内既存企業の再投資や拡張に伴う移転の受け皿となる産業用地を創出します。

指標 新たに市内に立地した企業の数
新たに市内に立地した企業の立地面積

＜重点事業＞市内限定商品券の流通拡大

プレミアムが付いたお得な市内限定商品券の発行に対してプレミアム分の助成を継続的に行うとともに、あわせて様々な機会を捉えてプレミアムの付いていない(贈答用)商品券を活用し、市内限定商品券の流通量を増やすことで、市民生活に欠かせない地域の中小小売店舗やサービス事業者の営業継続を支援します。

指標 市内でプレミアム商品券が使える店舗数
全加盟店の内小規模店舗で利用された商品券の総額

＜重点事業＞こまき巡回バス運行ルート・ダイヤの見直し

こまき巡回バスの利便性と利用者の満足度を高めるため、こまき巡回バスを拡充し、運行ルート・ダイヤの見直しを行うとともに、他の交通機関を含めて交通機関同士が有機的に接続した、シームレスで無駄のない総合交通ネットワークを構築します。

指標 こまき巡回バスの延べ乗客数

<重点事業> 小牧駅周辺の整備

市の顔である中心市街地の魅力を高め、賑わいを創出するため、A 街区をはじめ小牧駅周辺の整備を進めます。

指標 小牧駅周辺の来訪者数

<重点事業> 史跡小牧山の整備

小牧市のシンボルである史跡小牧山の魅力を高めるとともに歴史的価値への認識を広く市内外に広めるため、小牧山山頂からの眺望や景観に配慮した樹木の管理、史跡小牧山主郭地区整備基本計画に基づく主郭地区の整備、国指定の史跡に相応しい旧本庁舎の跡地整備、小牧山城の歴史文化の発信拠点となる史跡センターの整備などを行います。

指標 小牧市歴史館の来館者数、史跡センターの来訪者数

<重点事業> (仮称) 健康いきいきポイント制度の創設

健康の保持・増進に向けた市民の主体的な行動を促すため、市が設定した健康づくりや生きがいづくりに関する講座やイベントの参加者に対し、ポイントを付与し、貯まったポイントで健康診断などを無料または割引で受けられる新たな仕組みを検討し制度化します。

指標 健康や運動に関する講座・イベントへの参加者数
1年間に健康いきいきポイントを受け取った人の数

<重点事業> 障害者自立支援施設の立地促進

障がいのある方が地域で自立した生活を送れるよう、利用者のニーズやサービス事業者の参入意向等を把握しながら、必要なサービスをバランスよく提供できるように施設整備促進のための支援を行います。

指標 障害者支援施設の定員数

戦略2 安全で安心な地域をつくる支え合いの力

地域における防災教育や防災訓練の充実、災害弱者の避難や安否確認など災害時における共助による防災力の強化を図るとともに、公共施設や民間木造住宅の耐震化を進めることなどにより、災害による被害を最小限に抑え、市民の命を守ります。

また、市民や地域の防犯に対する意識を高め、地域ぐるみでの防犯活動の取組みを強化するとともに、学校や地域への防犯カメラの設置を推進することにより、事故や犯罪のない安心なまちをつくります。

誰もが自宅や地域において良質な医療や介護など必要なサービスを受けることのできる地域包括ケアシステムの確立を目指し、在宅医療の推進や福祉関係機関の連携強化、市民病院の更なる充実、地域の助け合い活動の促進などを行い、歳をとっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちをつくります。

とくに、地域の絆を強化し、ボランティア活動を活発化し、支え合い助け合いの地域づくりを推進するため、小学校区を基本単位として自治会やその他既存の地縁組織、地域住民が一体となり地域の様々な課題に対して取り組む新たなコミュニティ組織として「地域協議会」を創設します。

また、市民・事業者との連携強化や、地域住民の積極的な助け合い活動を支援する新しい仕組みの構築を行い、こどもや高齢者を地域で見守り支え合うまちをつくります。

＜重点事業＞災害時における要援護者の支援体制の整備

災害時に家族などの支援が困難で何らかの助けを必要とする重度の障害者やひとり暮らし高齢者などが、災害時における支援を地域の中で受けられるようにするため、行政と地域が協力して災害時要援護者台帳を作成するとともに、要援護者の安否確認と避難が確実にできる仕組みを検討し構築します。

指標 要援護者台帳が整備されている地区の割合

＜重点事業＞学校や地域への防犯カメラの設置

学校内への不法侵入や地域での犯罪を未然に防ぐため、個人のプライバシーの保護を確保しつつ、学校や地域への防犯カメラの設置を推進します。

指標 学校や地域への防犯カメラの設置台数

＜重点事業＞エンディングノートを活用した在宅医療の推進

全ての市民が人生を最期まで尊厳を持って生きるため、エンディングノートを活用して元気なうちから人生の最終章を考え家族と意思疎通を図っておくことを推奨し、在宅医療を含めた人生の最後の迎え方を自ら選択できる機会づくりを支援するとともに、在宅医療を希望した場合の受け皿を確保するため、在宅医療体制の充実を図ります。

指標 エンディングノートをもとに自らの人生について家族と話し合った人の割合
在宅で医療を受けている市民の数
在宅で看取りを受けた市民の数

＜重点事業＞市民病院の整備

尾張北部医療圏の中核病院として重要な役割を担ってきた小牧市民病院が今後ともその機能を十分に発揮できるよう、施設の老朽化に対応し、時代のニーズに沿った機能と設備を備えるべく市民病院の建替えを進め、病院機能の一層の充実を図ります。

指標 市民病院に満足している市民の割合

<重点事業> 地域協議会の設立による地域活動の活性化

地域の絆を強化し、ボランティア活動を活発化し、支え合い助け合いの地域づくりを推進するため、区の単位を超えて小学校区を基本単位として区長はじめ民生児童委員や保健連絡員、子ども会や老人会など各々の横の連携が機能する新しいコミュニティ組織として、「地域協議会」を創設します。

指標 地域協議会を組織している学区の数

<重点事業> 市民や事業者と連携したこどもや高齢者の見守り強化

誰もが地域で安心して生活するために、地域住民相互の声かけなどによる見守りや民間サービス事業者を含む幅広い機関の緊密な連携による見守りを行う仕組みを検討し構築します。

指標 見守りネットワークを構築した地区数

<重点事業> ボランティアポイント制度の創設

地域住民の共助を促すため、「ちょっとした困りごと」に対する支援といった市民ボランティア活動に対してポイントを付与する仕組みを検討し制度化します。

指標 1年間にボランティアポイントを受け取った人の数

戦略3 自立と共生による市民主体の地域づくり

自治基本条例の制定、協働提案事業化制度の有効活用、地域協議会の活動などにより、市民の自治意識を高め、市民主体の創意と活力に富む地域自治を推進するとともに、分権型社会の中で、次代を拓く新しい挑戦が活発に行われるまちをつくります。

行政手続きの簡素化・迅速化、選択と集中による行政改革を進める一方、市民のニーズやライフサイクルに合った公共施設の開館時間の見直し、マイナンバーカードを活用した行政サービスの利便化などを行い、必要な行政サービスの向上を図ります。

また、タウンミーティングや市民討議会の開催、ICTを活用した市政情報の発信などを通じて、市民と行政が市の課題を共有し、一緒に地域づくりを進める仕組みを強化します。

時代のニーズにあった施策の選択、継続的な事業の改善と経営資源の最適配分を可能にする行政経営システムの構築に努めるとともに、ファシリティマネジメントを強化することにより、人口減少社会を見据えた、効果的・効率的で持続性が高い自治体経営を推進します。

＜重点事業＞自治基本条例に基づく協働の仕組みの再構築

市民、議会、行政それぞれの役割と責任を明確にした自治基本条例を制定するとともに、行政計画、行政評価をはじめとする行政経営の諸制度の見直し、情報公開、行政手続きなど行政分野別の条例の見直しなど、協働を推進する上で必要な仕組みを再構築します。

また、自治基本条例の内容や意義を様々な機会をとらえて啓発するなど、協働によるまちづくりを進めます。

指標 小牧市自治基本条例を知っている市民の割合

＜重点事業＞ICTを活用した市政情報・地域情報の発信、情報共有の充実

希望者に市政情報や広報こまきをメール配信し、市政情報が行き届く仕組みを構築するとともに、自治会や地域協議会が開設するホームページによる地域情報の共有を支援します。

また、広報こまきを公共施設だけでなく、飲食店など、人が多く集う場所に設置するほか、協力いただける市内主要企業にも設置します。

指標 市政情報が得やすいと感じる市民の割合

＜重点事業＞マイナンバーカードを活用した行政サービスの提供

開庁時間内に窓口へ来られない市民が、曜日や時間にとらわれず身近な場所で行政サービスを受けられるようにするため、マイナンバーカードの導入にあわせ、コンビニエンスストアで各種証明書を発行できる環境を整備します。

指標 各種証明書のコンビニ交付の件数

＜重点事業＞ファシリティマネジメントの強化

公共施設の長寿命化を図る一方、長期的な視点から人口構造の変化や市民ニーズの多様化を踏まえた公共施設の適正配置のあり方について検討するなど、ファシリティマネジメントを強く推進します。

指標 あり方の見直しに着手する施設数

『子育て応援 No.1 都市』

こどもたちに福祉体験、農業体験、就業体験など様々な体験機会を提供するとともに、こどもたちの夢への挑戦を応援する制度などを創設し、こどもたちが夢を抱きチャレンジできるまちをつくりま

す。
外国人市民が多いという小牧市の特性を活かし、外国人市民との交流機会や海外友好都市との児童交流を拡充するとともに、在日海外クラブチームによるジュニアサッカー全国大会の誘致開催や、こどもたちが英語に慣れ親しめる環境を整備するなど外国語教育を充実し、幼い頃から国際感覚を養うことができる環境を創出します。

青少年の健全育成を支える環境を整備するため「地域のこどもたちを地域ぐるみで見守り育てよう」「子育て中の親を地域で支援しよう」という理念に立った地域子育て条例を制定するとともに、保育園の新設、公立保育園の一部民営化による多様な保育ニーズへの対応、放課後児童クラブの充実などを進め、子どもを安心して産み育てることができるまちをつくりま

＜重点事業＞（仮称）こども夢基金の創設

市民、団体、企業からの寄付と行政からの積立金により、こどもたちの夢へのチャレンジを応援する取組みに用途を限定した基金を創設し運用します。

指標 基金に積み立てられた寄付金額

＜重点事業＞国際教育の充実・国際交流の拡大

児童館で英語に親しむプログラムを実施するなど、こどもたちが幼い頃から国際コミュニケーション能力を習得する機会をつくり、外国語教育を充実します。

また、海外友好・姉妹都市の提携、交流を拡大し、こどもたちが異文化への体験的理解を得る貴重な機会となる海外との児童交流を拡充することにより、次世代を担うこどもたちの国際感覚を醸成し、世界的視野から日本を語ることができる国際人を育成します。

指標 海外友好都市・姉妹都市提携を結んだ都市の数

国際交流事業に参加した児童生徒の数

外国語に関するプログラムに参加した児童生徒の数

＜重点事業＞保育園待機児童ゼロ対策

名鉄小牧線沿線の宅地開発に伴う保育需要の高まりに対し、小牧南部地域に低年齢児を多く受け入れることができる「（仮称）みなみ保育園」を整備するとともに、希望する幼稚園の認定こども園化への支援を行います。

指標 待機児童数